

小学校家庭，中学校技術・家庭家庭分野の内容一覧

小学校	中学校(家庭分野)
衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にする心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。	(家庭分野) 衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
A 家庭生活と家族	A 家族・家庭と子どもの成長
(1) 自分の成長と家族 ア 成長の自覚，家庭生活と家族の大切さ (2) 家庭生活と仕事 ア 家庭の仕事と分担 イ 生活時間の工夫 (3) 家族や近隣の人々とのかかわり ア 家族との触れ合いや団らん イ 近隣の人々とのかかわり	(1) 自分の成長と家族 ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり (2) 家庭と家族関係 ア 家庭や家族の基本的な機能，家庭生活と地域のかかわり イ これからの自分と家族，家族関係をよりよくする方法 (3) 幼児の生活と家族 ア 幼児の発達と生活の特徴，家族の役割 イ 幼児の観察や遊び道具の製作，幼児の遊びの意義 ウ 幼児との触れ合い，かかわり方の工夫 <u>エ 家族又は幼児の生活についての課題と実践</u>
B 日常の食事と調理の基礎	B 食生活と自立
(1) 食事の役割 ア 食事の役割と日常の食事の大切さ イ 楽しく食事をするための工夫 (2) 栄養を考えた食事 ア 体に必要な栄養素の種類と働き イ 食品の栄養的特徴と組合せ ウ 1食分の献立 (3) 調理の基礎 ア 調理への関心と調理計画 イ 材料の洗い方，切り方，味の付け方，盛り付け，配膳及び後片付け ウ ゆでたり，いためたりする調理 エ 米飯及びみそ汁の調理 オ 用具や食器の安全で衛生的な取扱い，こんろの安全な取扱い	(1) 中学生の食生活と栄養 ア 食事が果たす役割，健康によい食習慣 イ 栄養素の種類と働き，中学生の栄養の特徴 (2) 日常食の献立と食品の選び方 ア 食品の栄養的特質，中学生の1日に必要な食品の種類と概量 イ 中学生の1日分の献立 ウ 食品の選択 (3) 日常食の調理と地域の食文化 ア 基礎的な日常食の調理，食品や調理用具等の適切な管理 イ 地域の食材を生かした調理，地域の食文化 <u>ウ 食生活についての課題と実践</u>
C 快適な衣服と住まい	C 衣生活・住生活と自立
(1) 衣服の着用と手入れ ア 衣服の働きと快適な着方の工夫 イ 日常着の手入れとボタン付け及び洗濯 (2) 快適な住まい方 ア 住まい方への関心，整理・整頓及び清掃の仕方と工夫 イ 季節の変化に合わせた生活の大切さ，快適な住まい方の工夫 (3) 生活に役立つ物の製作 ア 形などの工夫と製作計画 イ 手縫いやミシン縫いによる製作・活用 ウ 用具の安全な取扱い	(1) 衣服の選択と手入れ ア 衣服と社会生活とのかかわり，目的に応じた着用や個性を生かす着用の工夫 イ 衣服の計画的な活用や選択 ウ 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ (2) 住居の機能と住まい方 ア 住居の基本的な機能 イ 安全な室内環境の整え方，快適な住まい方の工夫 (3) 衣生活，住生活などの生活の工夫 ア 布を用いた物の製作，生活を豊かにするための工夫 <u>イ 衣生活又は住生活についての課題と実践</u>
D 身近な消費生活と環境	D 身近な消費生活と環境
(1) 物や金銭の使い方と買物 ア 物や金銭の大切さ，計画的な使い方 イ 身近な物の選び方，買い方 (2) 環境に配慮した生活の工夫 ア 身近な環境とのかかわり，物の使い方の工夫	(1) 家庭生活と消費 ア 消費者の基本的な権利と責任 イ 販売方法の特徴，物資・サービスの選択，購入及び活用 (2) 家庭生活と環境 ア 環境に配慮した消費生活の工夫と実践

※枠囲みは選択事項。3学年間で1又は2事項を選択

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。		
第1 家庭基礎 (2単位)	第2 家庭総合 (4単位)	第3 生活デザイン (4単位)
<p>1 目標</p> <p>人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p>	<p>1 目標</p> <p>人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p>	<p>1 目標</p> <p>人の一生と家族・家庭及び福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を体験的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p>
<p>2 内容</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉</p> <p>ア 青年期の自立と家族・家庭</p> <p>(ア) 青年期の自立</p> <p>(イ) 生活と意思決定</p> <p>イ 子どもの発達と保育</p> <p>(ア) 子どもの生活と家族・家庭</p> <p>(イ) 子どもの育つ環境</p> <p>ウ 高齢期の生活</p> <p>(ア) 高齢期の特徴と生活</p> <p>(イ) 高齢社会を生きる</p> <p>エ 共生社会と福祉</p> <p>(ア) 家族・家庭と社会的支援</p> <p>(イ) 共生とコミュニティ</p> <p>(2) 生活の自立及び消費と環境</p> <p>エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画</p> <p>(ア) 消費者問題と消費者の権利</p> <p>(イ) 生涯の経済計画とリスク管理</p> <p>オ ライフスタイルと環境</p> <p>(ア) 消費生活と環境とのかかわり</p> <p>(イ) 環境負荷の少ない生活への取組</p> <p>ア 食事と健康</p> <p>(ア) 栄養と食事</p> <p>(イ) 食品と調理</p> <p>イ 被服管理と着装</p> <p>(ア) 被服の機能と着装</p> <p>(イ) 被服の管理と計画</p> <p>ウ 住居と住環境</p> <p>(ア) 住居と家族の生活</p> <p>(イ) 安全で環境に配慮した住生活</p> <p>カ 生涯の生活設計</p> <p>(3) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</p>	<p>2 内容</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭</p> <p>ア 人の一生と青年期の自立</p> <p>(ア) 人の一生と発達課題</p> <p>(イ) 青年期の課題</p> <p>(ウ) 生活の自立を目指す上での意思決定</p> <p>イ 家族・家庭と社会</p> <p>(ア) 家族の機能と家族関係</p> <p>(イ) 家庭生活と社会</p> <p>(2) 子どもや高齢者とのかかわりと福祉</p> <p>ア 子どもの発達と保育・福祉</p> <p>(ア) 子どもとかわる</p> <p>(イ) 子どもの発達と生活</p> <p>(ウ) 親の役割と子育て支援</p> <p>(エ) 子どもの権利と福祉</p> <p>イ 高齢者の生活と福祉</p> <p>(ア) 高齢者とかわる</p> <p>(イ) 高齢期の生活と課題</p> <p>(ウ) 人間の尊厳とケア</p> <p>(エ) 高齢社会の現状と社会福祉</p> <p>ウ 共生社会における家庭や地域</p> <p>(3) 生活における経済の計画と消費</p> <p>ア 生活における経済の計画</p> <p>(ア) 家計と経済</p> <p>(イ) 資金管理とリスク</p> <p>(ウ) キャッシュレス社会とその課題</p> <p>イ 消費行動と意思決定</p> <p>(ア) 消費者の意思決定とその重要性</p> <p>(イ) 生活情報の収集・選択と活用</p> <p>ウ 消費者の権利と責任</p> <p>(ア) 社会の変化と消費生活</p> <p>(イ) 消費者問題の現状と課題</p> <p>(ウ) 消費者の権利と自立支援</p> <p>(4) 生活の科学と環境</p> <p>エ 持続可能な社会を目指したライフスタイルの確立</p> <p>(ア) 持続可能な消費</p> <p>(イ) 環境保全に向けたライフスタイルの確立</p> <p>(4) 生活の科学と環境</p> <p>ア 食生活の科学と文化</p> <p>(ア) 人の一生と食事</p> <p>(イ) 食生活の自立と調理</p> <p>(ウ) 食生活の文化</p> <p>(エ) 食生活と環境</p> <p>イ 衣生活の科学と文化</p> <p>(ア) 人の一生と被服</p> <p>(イ) 衣生活の自立と管理</p> <p>(ウ) 衣生活の文化と製作</p> <p>(エ) 衣生活と環境</p> <p>ウ 住生活の科学と文化</p> <p>(ア) 人の一生と住居</p> <p>(イ) 住生活の計画と選択</p> <p>(ウ) 住生活の文化</p> <p>(エ) 住生活と環境</p> <p>(5) 生涯の生活設計</p> <p>ア 生活資源とその活用</p> <p>イ ライフスタイルと生活設計</p> <p>(6) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</p>	<p>2 内容</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉</p> <p>ア 青年期の自立と家族・家庭</p> <p>(ア) 青年期の自立</p> <p>(イ) 生活と意思決定</p> <p>イ 子どもの発達と保育</p> <p>(ア) 子どもの生活と家族・家庭</p> <p>(イ) 子どもの育つ環境</p> <p>★ オ 子どもとの触れ合い</p> <p>ウ 高齢期の生活</p> <p>(ア) 高齢期の特徴と生活</p> <p>(イ) 高齢社会を生きる</p> <p>★ カ 高齢者とのコミュニケーション</p> <p>エ 共生社会と福祉</p> <p>(ア) 家族・家庭と社会的支援</p> <p>(イ) 共生とコミュニティ</p> <p>(2) 消費や環境に配慮したライフスタイルの確立</p> <p>ア 消費生活と生涯を見通した経済の計画</p> <p>(ア) 消費者問題の現状と課題</p> <p>(イ) 消費者の権利と自立支援</p> <p>(ウ) 消費行動と意思決定</p> <p>(エ) 生涯の経済計画とリスク管理</p> <p>イ ライフスタイルと環境</p> <p>(ア) 消費生活と環境とのかかわり</p> <p>(イ) 環境負荷の少ない生活への取組</p> <p>(3) 食生活の設計と創造</p> <p>ア 家族の健康と食事</p> <p>(ア) 食事の意義と食生活の課題</p> <p>(イ) 家族の栄養と食事</p> <p>(ウ) 家族の食事と献立</p> <p>イ おいしさの科学と調理</p> <p>(ア) おいしさの要素</p> <p>(イ) 食品と調理とおいしさの科学</p> <p>(ウ) 食品の加工とおいしさの科学</p> <p>ウ 食生活と環境</p> <p>(ア) 食生活の安全と衛生</p> <p>(イ) 環境に配慮した食生活</p> <p>★ エ 食生活のデザインと実践</p> <p>(ア) 地域と食文化</p> <p>(イ) 世界の食文化</p> <p>(ウ) 食生活の実践</p> <p>(4) 衣生活の設計と創造</p> <p>ア 装いの科学と表現</p> <p>(ア) 被服の機能と着心地</p> <p>(イ) 装いと表現</p> <p>イ 被服の構成と製作</p> <p>(ア) 被服の構成と身体</p> <p>(イ) 被服の製作</p> <p>ウ 衣生活の管理と環境</p> <p>(ア) 被服の選択</p> <p>(イ) 被服の管理と環境に配慮した衣生活</p> <p>★ エ 衣生活のデザインと実践</p> <p>(5) 住生活の設計と創造</p> <p>ア 家族の生活と住居</p> <p>(ア) 住居の機能</p> <p>(イ) 家族のライフステージと住居</p> <p>イ 快適さの科学と住空間の設計</p> <p>(ア) 快適な住空間の設計</p> <p>(イ) インテリア計画</p> <p>ウ 住居と住環境</p> <p>(ア) 住環境と地域</p> <p>(イ) 環境に配慮した住生活</p> <p>★ エ 住生活のデザインと実践</p> <p>(2) 消費や環境に配慮したライフスタイルの確立</p> <p>ウ 生涯の生活設計</p> <p>(6) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</p>
<p>3 内容の取扱い</p>	<p>3 内容の取扱い</p>	<p>3 内容の取扱い</p> <p>★内容の(1)オ、カ(3)エ(4)エ(5)エから適宜選択して履修させる。</p>